

2024年3月期 中間決算説明資料

フクシマガリレイ株式会社



Dramatic Future 2050

～誰もがワクワクする未来を拓く、ガリレイグループ～

を超えた挑戦。

GALILEI

Be cool, Be alive.

A young child with light brown hair, wearing a blue and white striped shirt, is sitting in a metal shopping cart. The child is looking towards the left, where shelves of fresh produce are visible. The shelves are stocked with various items, including green bell peppers, orange carrots, and yellow squash. The background shows more shelves and the interior of a supermarket.

いつでもどこでも 食の安全・安心を

私たちは「食」に関わるビジネスに携わるものとして、安全・安心な食の提供を何よりも優先し、すべての人の豊かな食生活の実現に貢献していく。これまで培ってきた「安全・安心技術」を、日本はもとより世界へ広くお届けしていく。「食」を通じて社会を明るく元気にすることが私たちの使命である。（食の安全・安心）

フクシマガリレイ株式会社

FUKUSHIMA GALILEI CO.LTD.

設立:1951（昭和26）年12月8日

本社:大阪府大阪市西淀川区竹島2-6-18

代表者：代表取締役 社長執行役員 福島 豪

資本金:27億6千万円

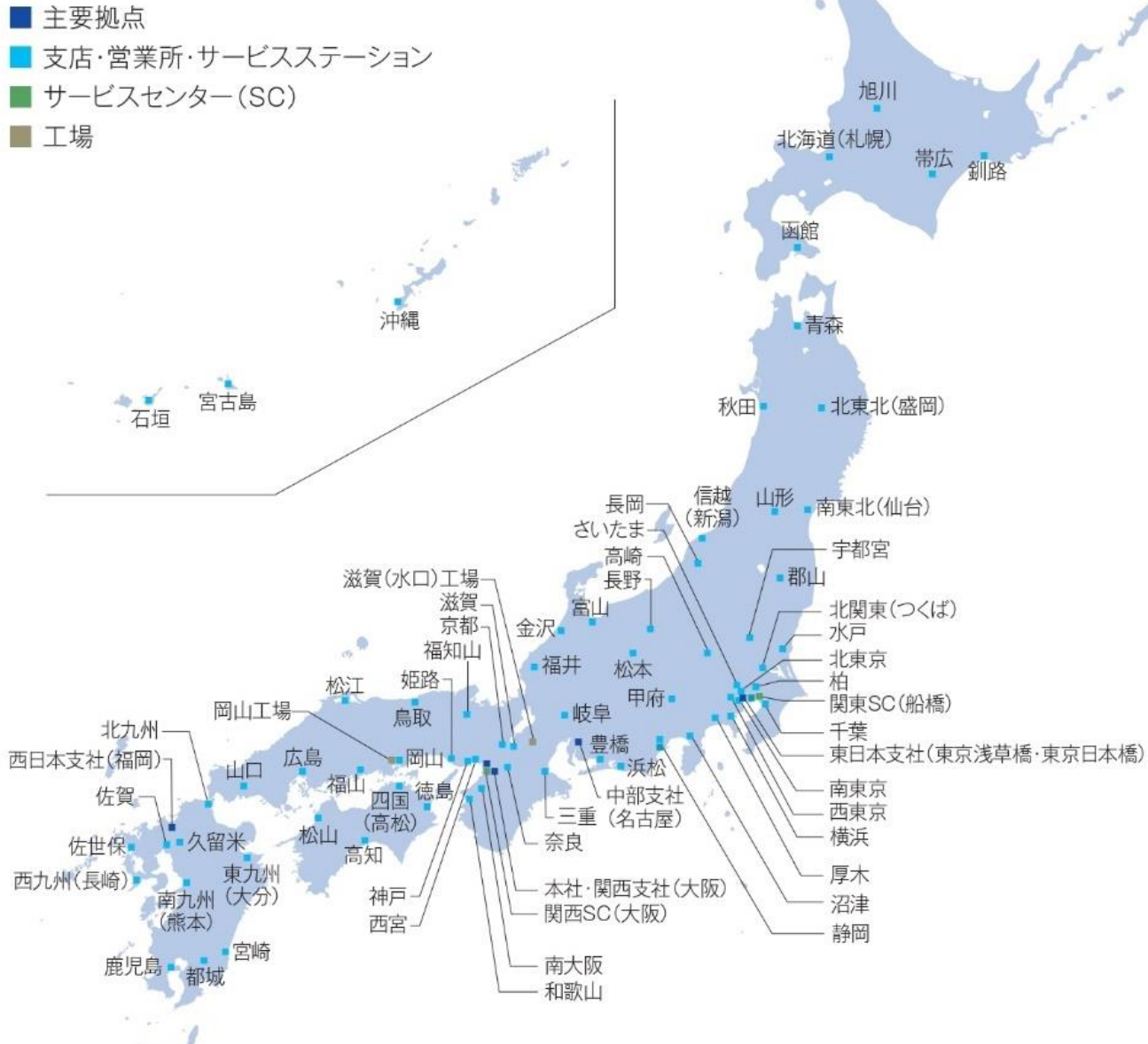
従業員:2,388名（2023年3月末現在）準社員込

連結売上高：1049億96百万円(2023年3月期)

連結経常利益：122億92百万円(2023年3月期)

上場：東証プライム市場

フクシマガリレイのネットワーク



フクシマガリレイのネットワーク

11か国
12拠点



事業の概要



**冷凍冷蔵
ショーケース販売**



冷凍冷蔵庫販売



**医療・理化学
製品販売**

環境・安全・安心をテーマに
「幸せ創造企業」を目指します



**大型食品
加工機械販売**



**大型パネル
冷蔵設備販売**

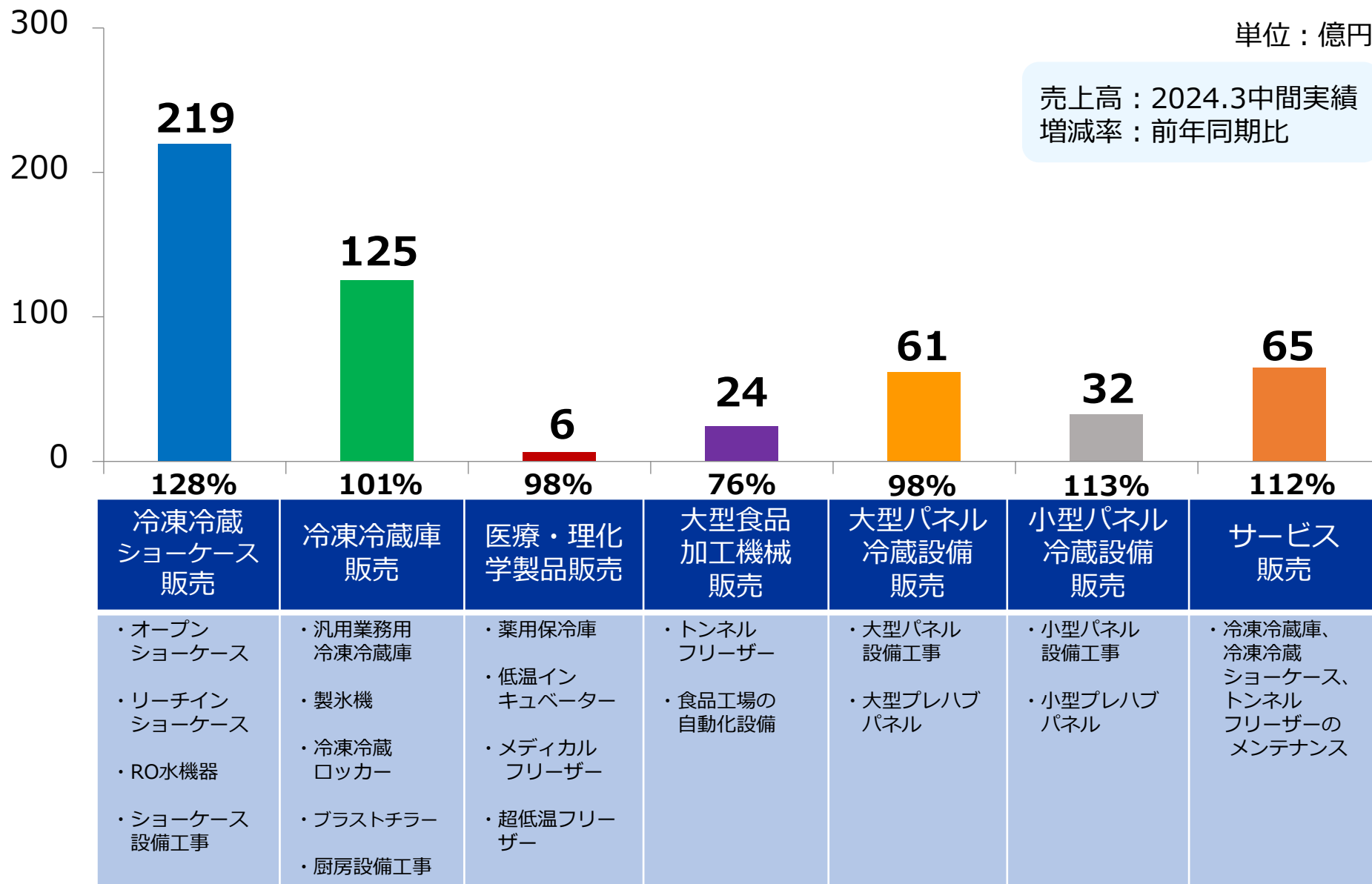


**小型パネル
冷蔵設備販売**



サービス販売

事業の概要



2024年3月期業績概要

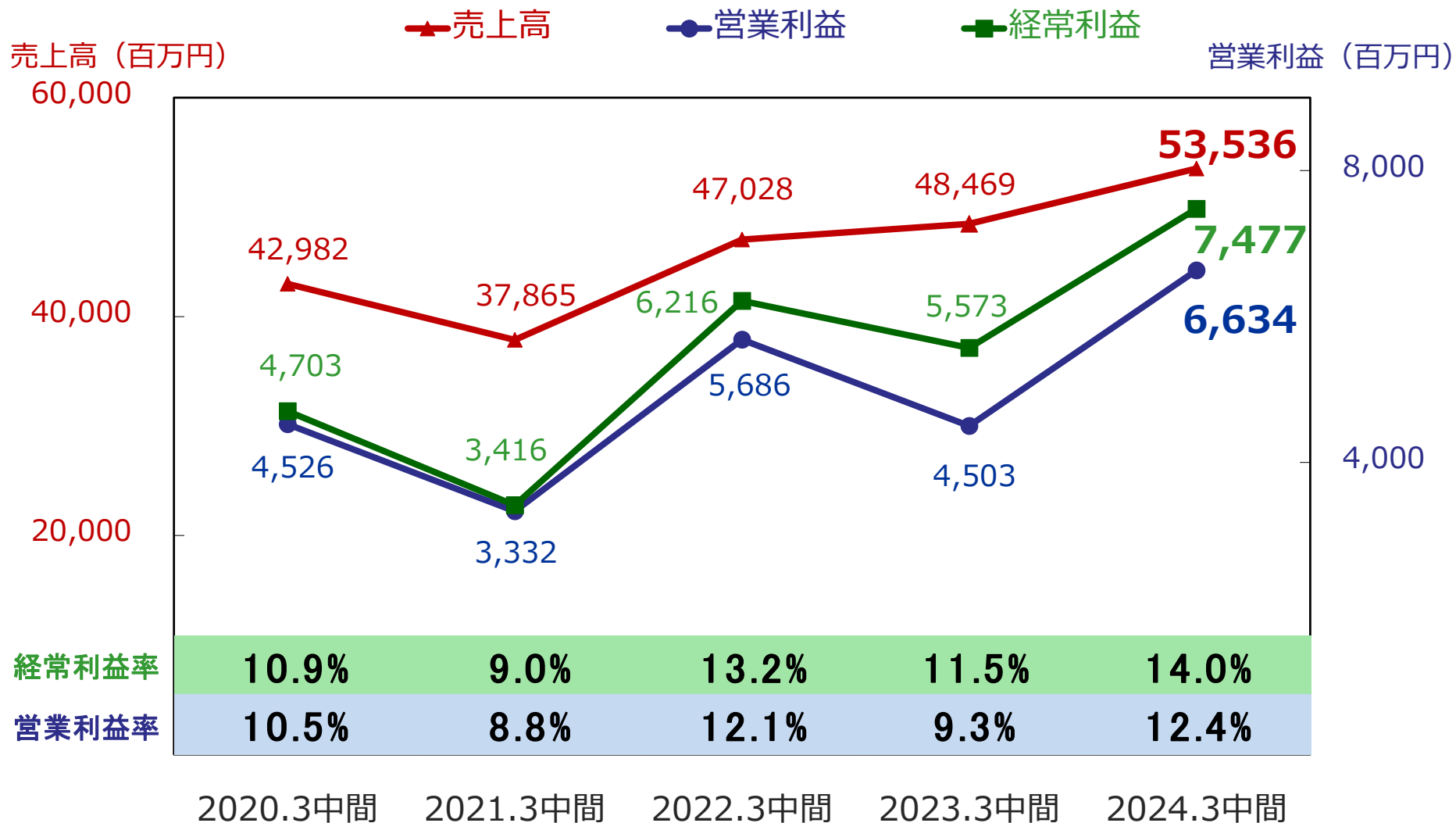
連結損益計算書サマリー

単位：百万円

	2023年		2024年		前年比
	金額	比率	金額	比率	
売上高	48,469	100.0%	53,536	100.0%	110.5 %
売上原価	36,273	74.8%	38,584	72.1%	106.4 %
売上総利益	12,196	25.2%	14,951	27.9%	122.6 %
販売費及び 一般管理費	7,693	15.9%	8,317	15.5%	108.1 %
営業利益	4,503	9.3%	6,634	12.4%	147.3 %
経常利益	5,573	11.5%	7,477	14.0%	134.2 %
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	3,884	8.0%	5,303	9.9%	136.5 %

事業の概要

業績推移（連結）



2024年3月期中間決算のポイント

■ 連結業績について増収増益

■ 冷凍冷蔵ショーケース販売

- 流通産業の店舗の改装需要が堅調に推移し、スーパーマーケットやドラッグストア向け売上増加
- コンビニエンスストア向け自然冷媒を採用したショーケースの販売も堅調に推移

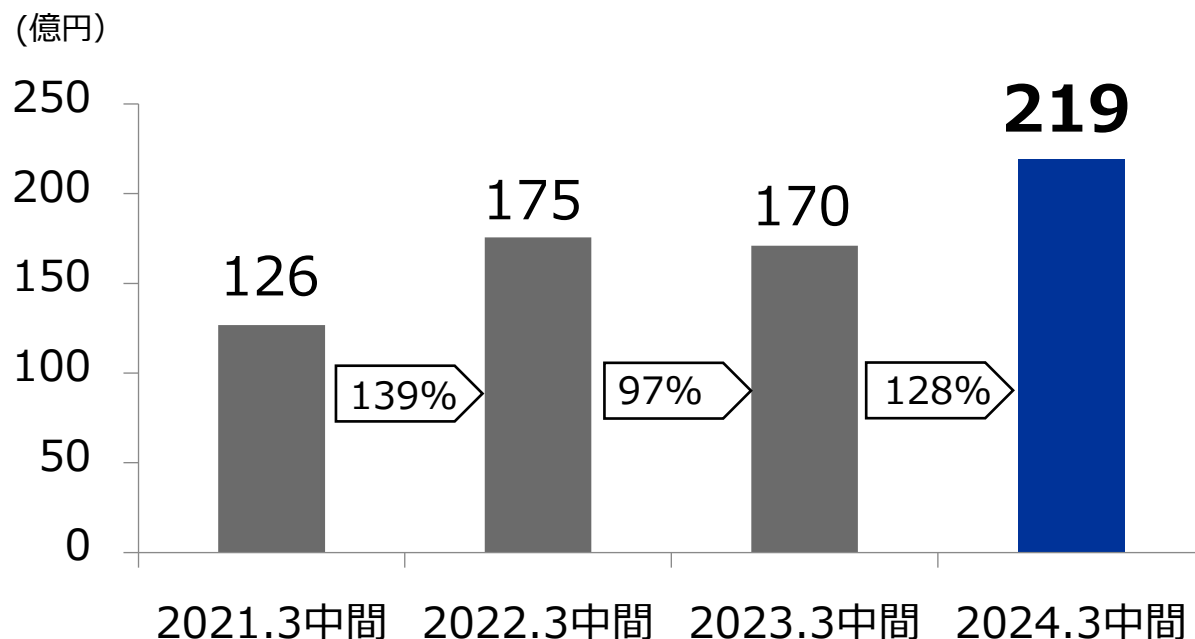
■ 小型パネル冷蔵設備販売

- スーパーマーケットやホテル、コンビニエンスストア向けの売上増加

■ 冷凍冷蔵ショーケース販売を中心に

前期より取り組んでいる価格転嫁が浸透し利益率UP

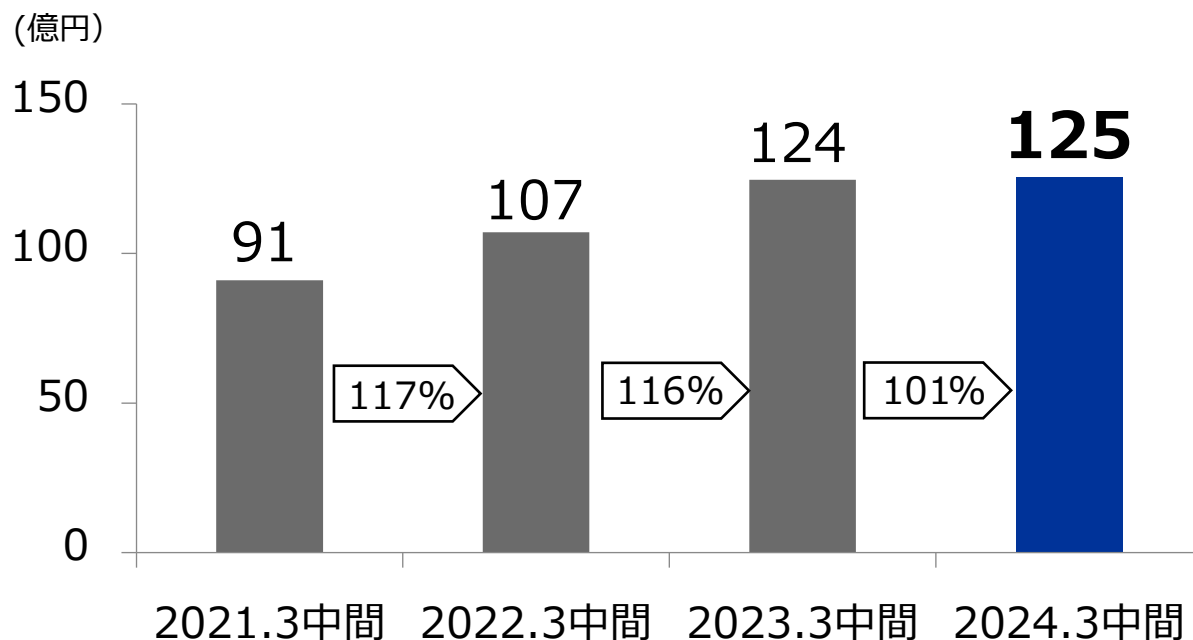
冷凍冷蔵ショーケース販売売上高推移



冷凍冷蔵ショーケース販売 売上増の要因

- ・流通産業の店舗の改装需要が堅調に推移し、スーパーマーケットやドラッグストア向け売上増加
- ・コンビニエンスストア向けの自然冷媒採用のショーケース販売が堅調に推移

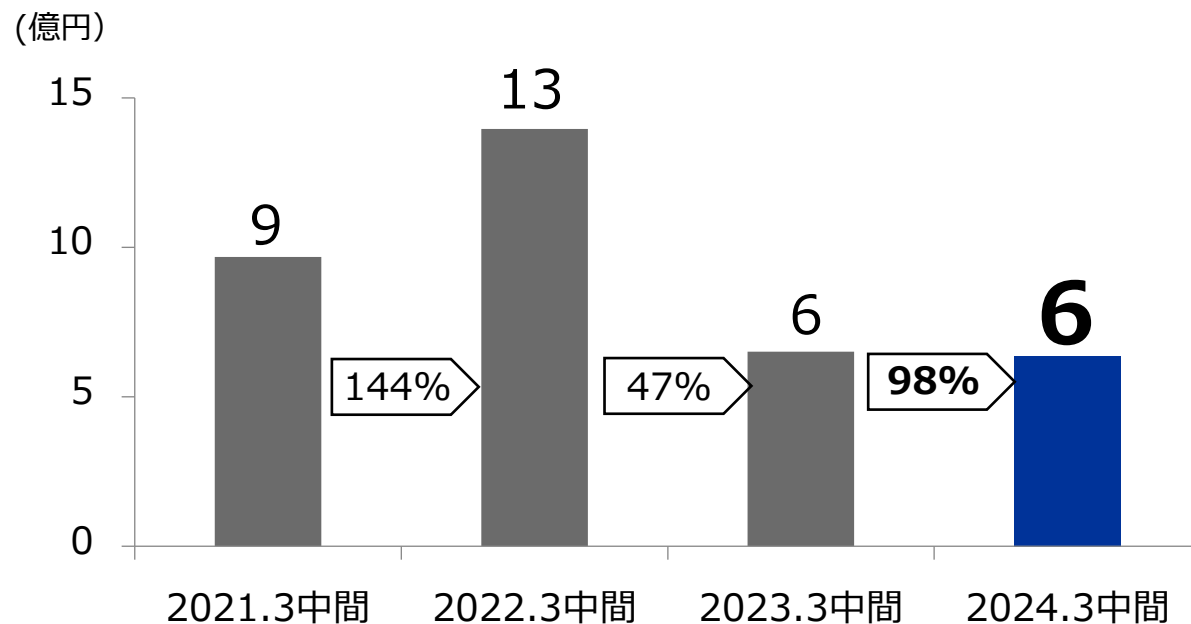
冷凍冷蔵庫販売売上高推移



冷凍冷蔵庫販売 売上増の要因

- ・店舗での食品加工やテイクアウト需要が落ちつき、ブラストチラーや冷凍冷蔵ロッカーなどの高付加価値商品の売上が減少
- ・外食産業の需要回復に合わせて飲食店及び宿泊施設向けの汎用冷凍冷蔵庫の販売が増加

医療・理化学製品販売売上高推移

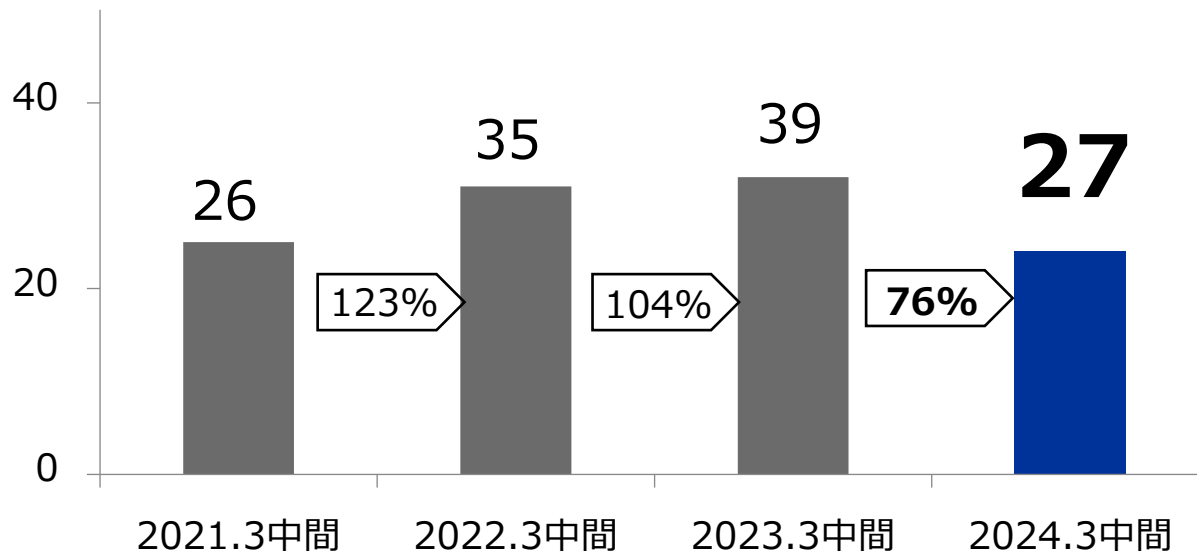


医療・理化学製品販売 売上減の要因

- ・薬用保冷庫の調剤薬局・ドラッグストア向け販売が増加傾向にある一方、病院・クリニック向けの販売が減少

大型食品加工機械販売売上高推移

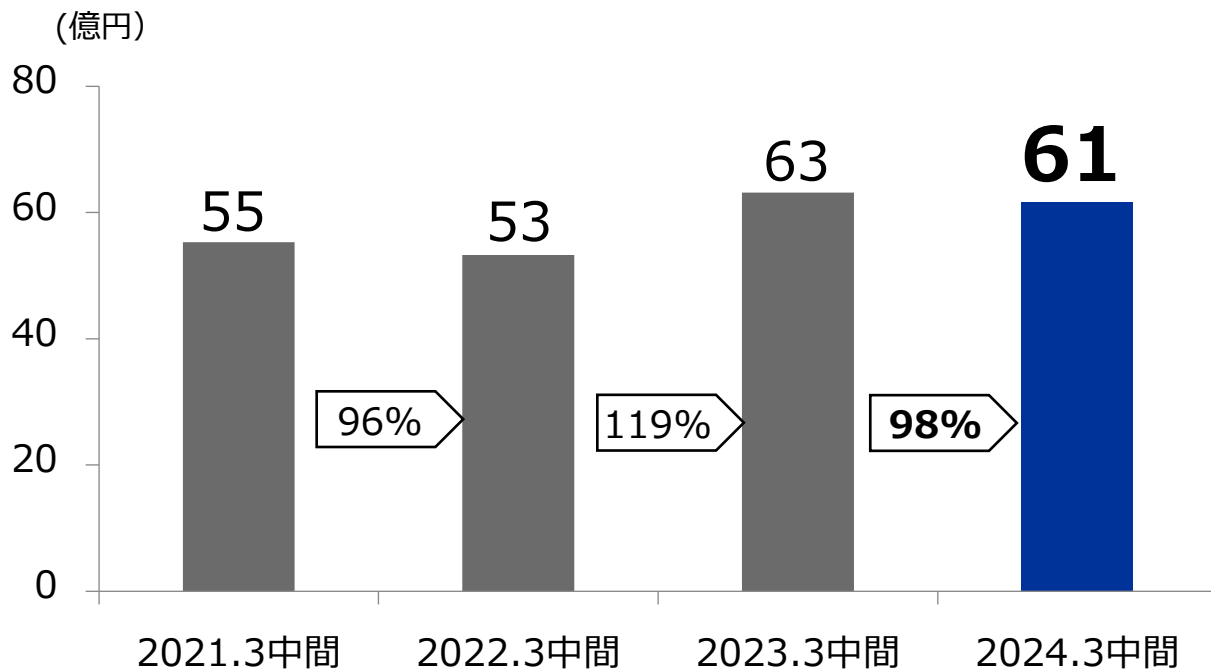
(億円)



大型食品加工機械販売 売上減の要因

- ・ エネルギーコストや原材料価格の高騰を受け、食品メーカーを中心に設備投資が慎重な傾向が継続
- ・ 前年第4四半期に物件が集中し上期の物件が減少

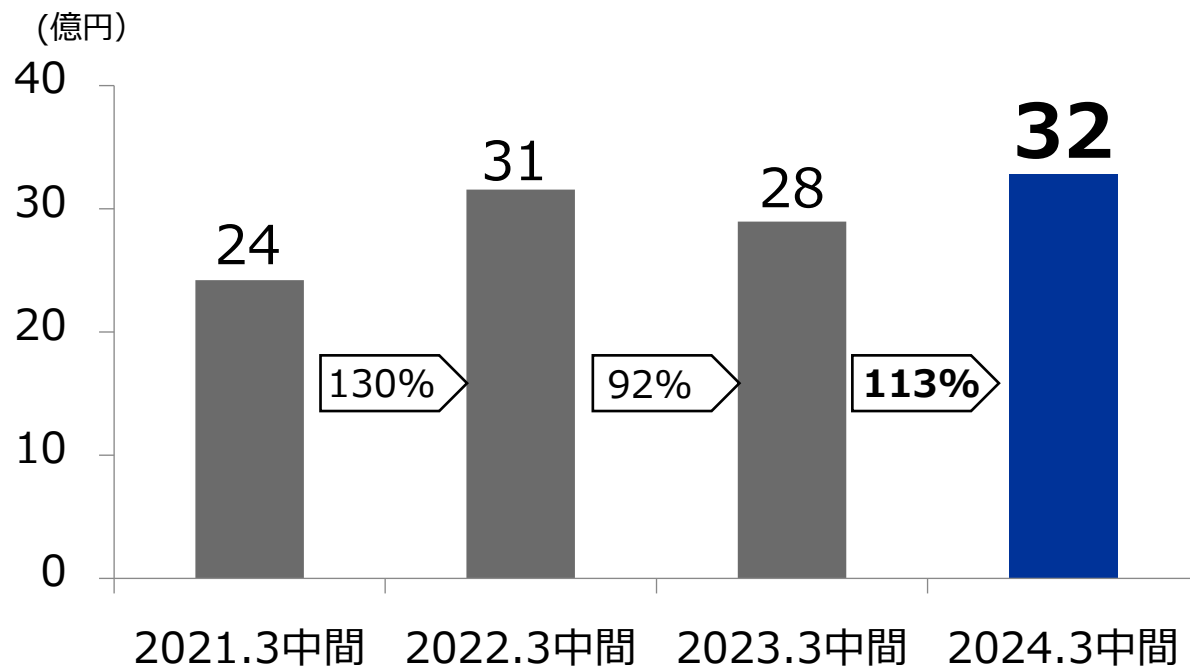
大型パネル冷蔵設備販売売上高推移



大型パネル冷蔵設備販売 売上減の要因

- ・ 物流の2024年問題を背景に低温物流拠点需要が堅調に推移した一方、コンビニエンスストアや食品工場の設備投資は落ち着きを見せたため販売が減少

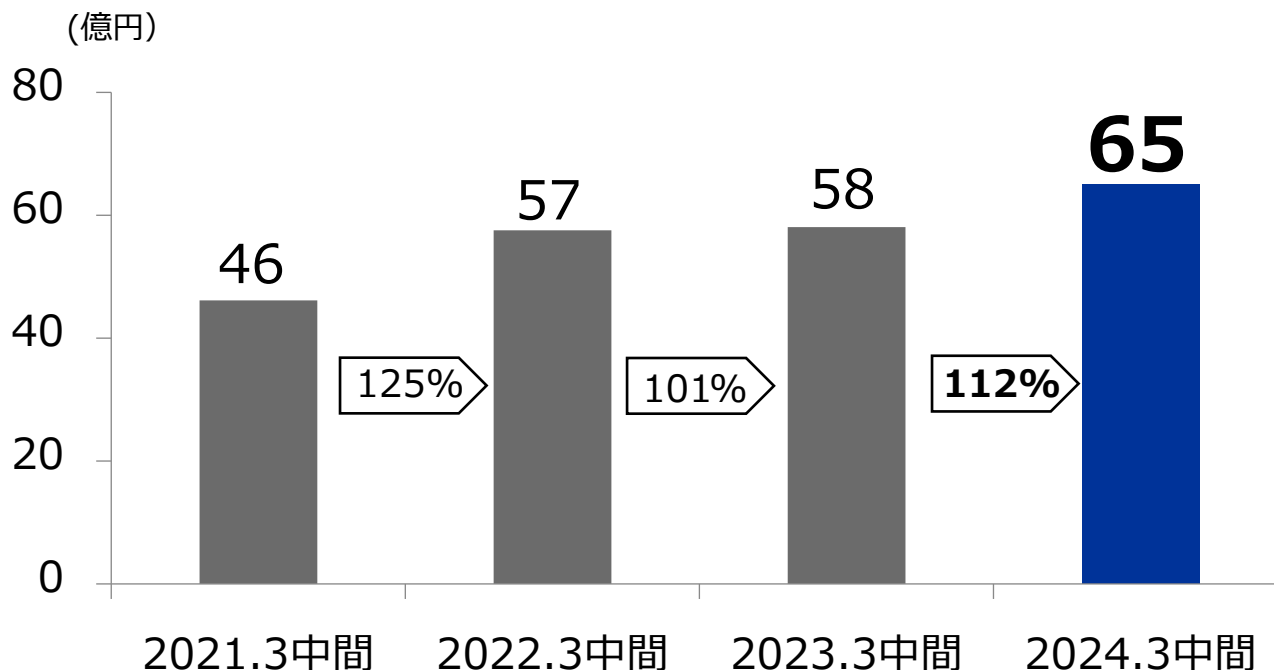
小型パネル冷蔵設備販売売上高推移



小型パネル冷蔵設備販売 売上増の要因

- ・スーパーマーケットやホテル、コンビニエンスストア向けの売上増加

サービス販売売上高推移



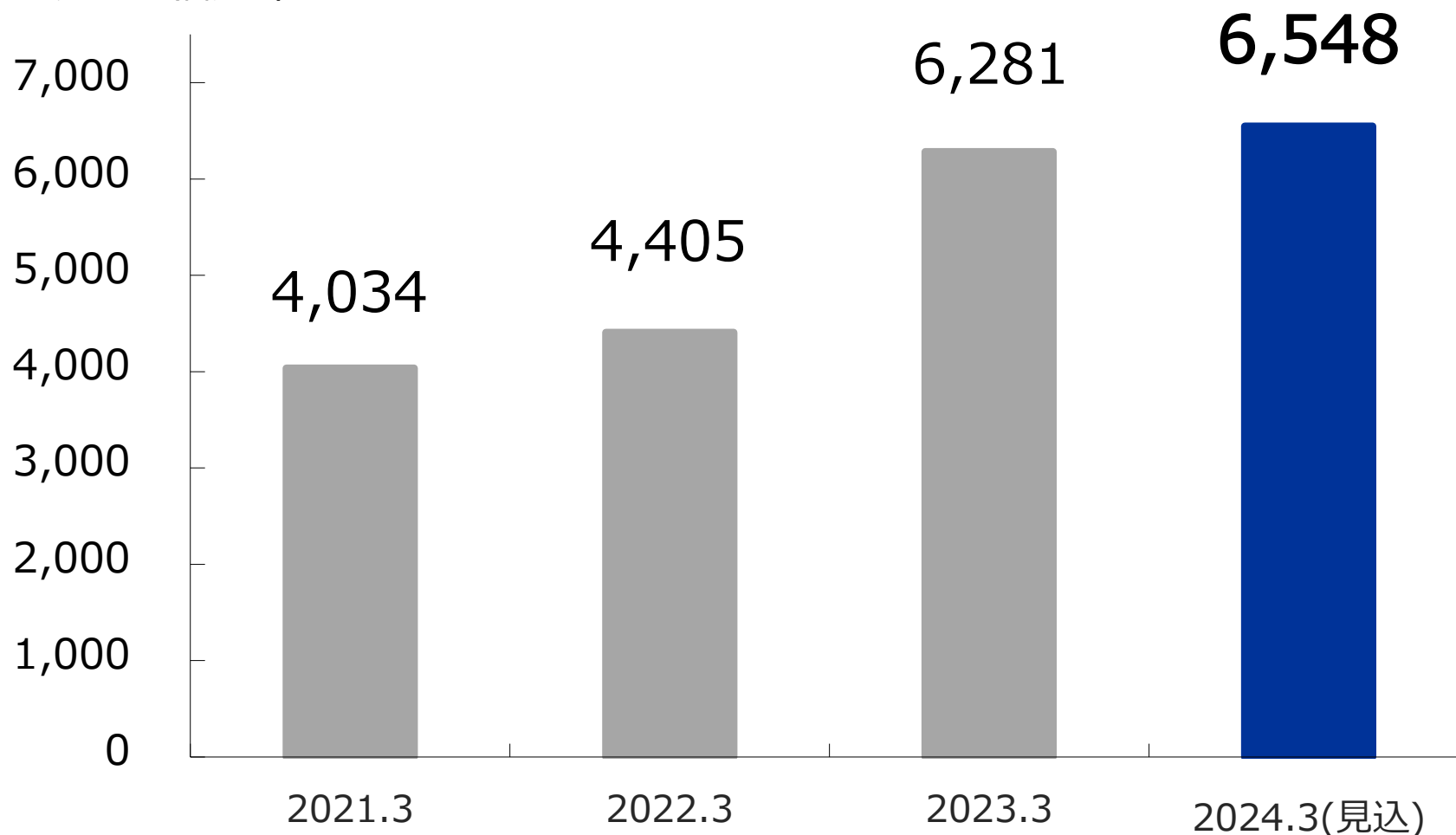
サービス販売 売上増の要因

- ・ スーパーマーケットやコンビニ向けのメンテナンス、保守契約ともに増加
- ・ 業務用冷凍冷蔵庫のメンテナンスの需要回復
- ・ トンネルフリーザーのメンテナンスの売上増加

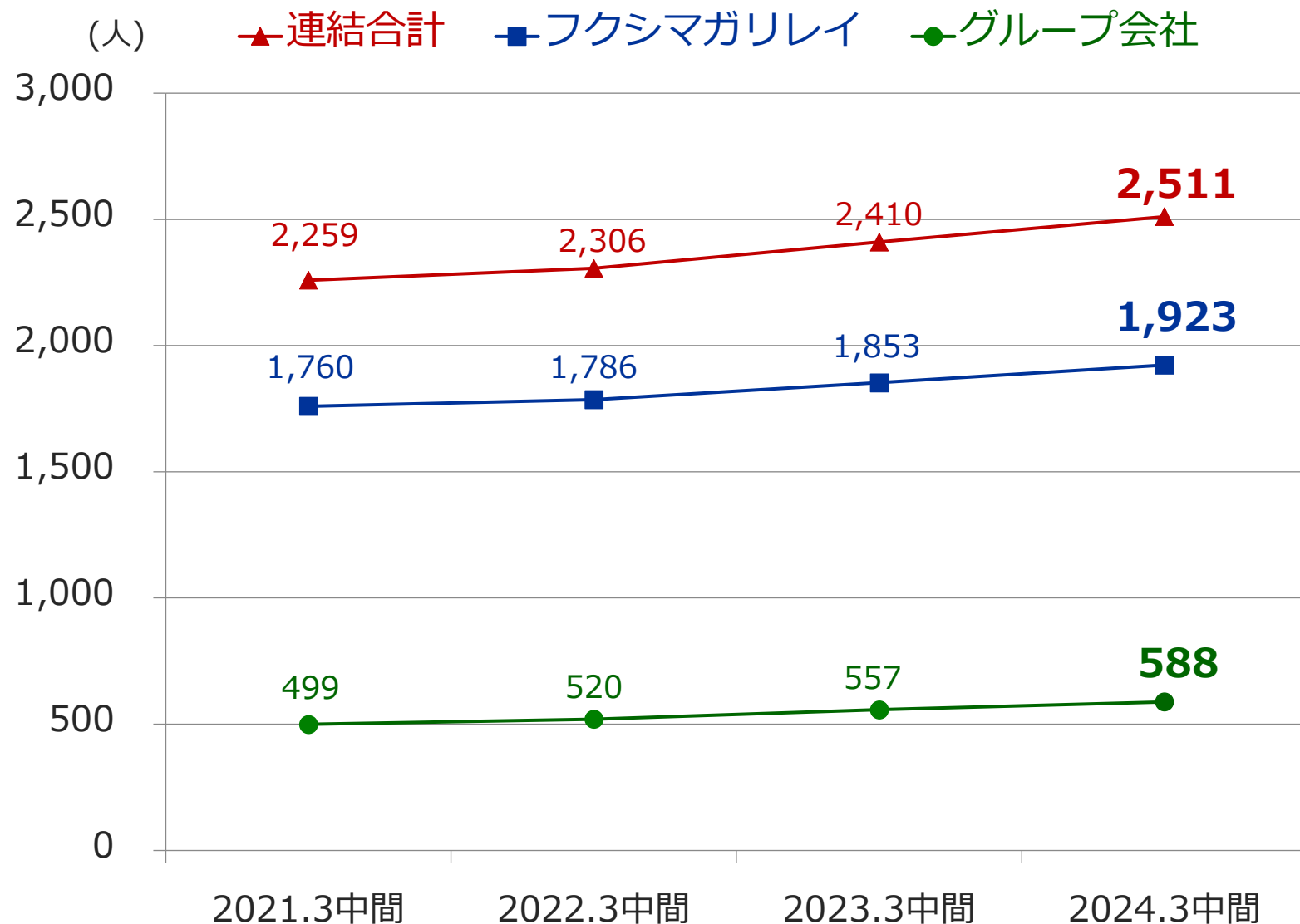
海外事業売上高推移

単純合算による売上推移

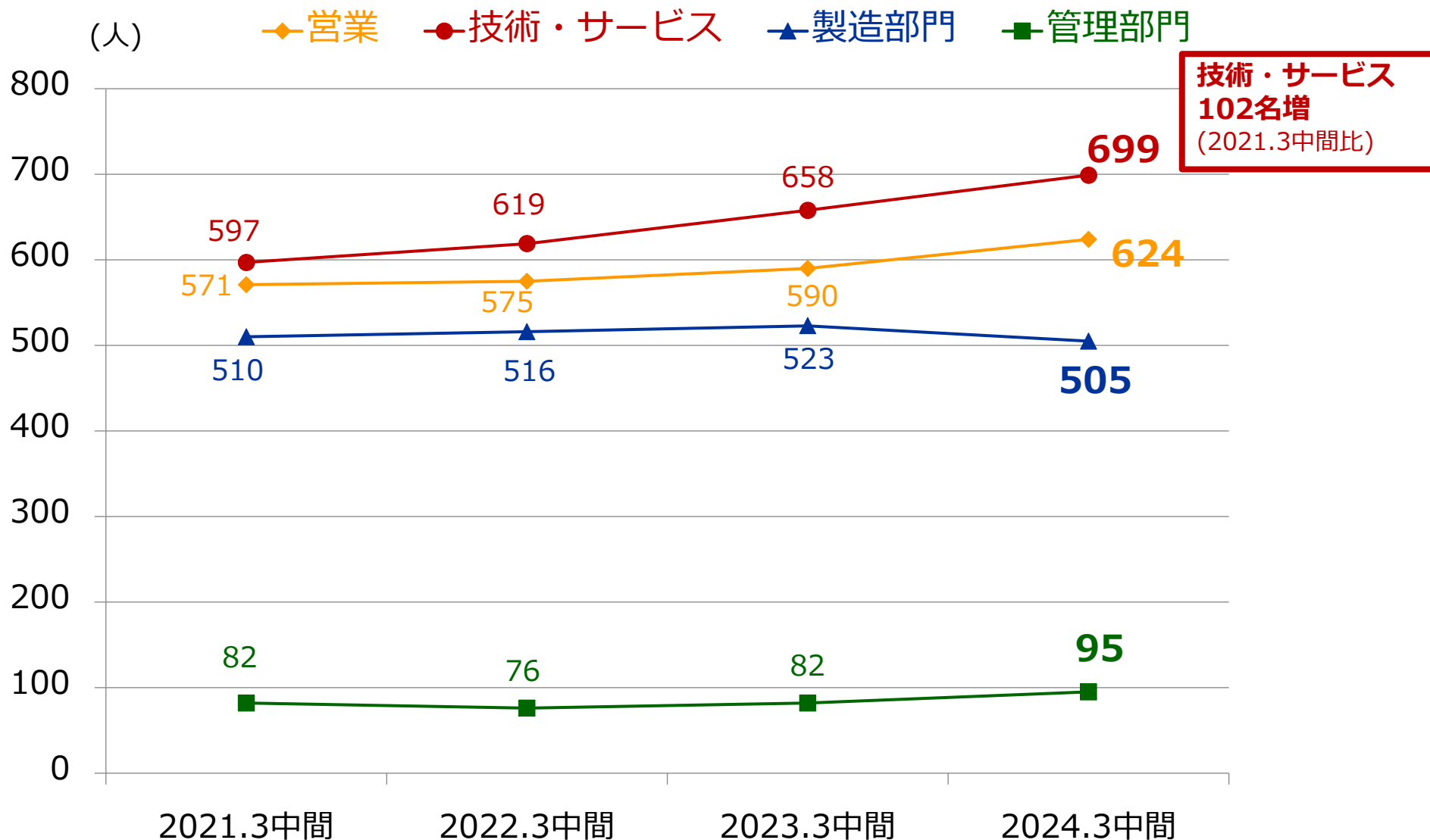
売上高（百万円）



人員推移表（連結）



部門別 人員推移表（単体）



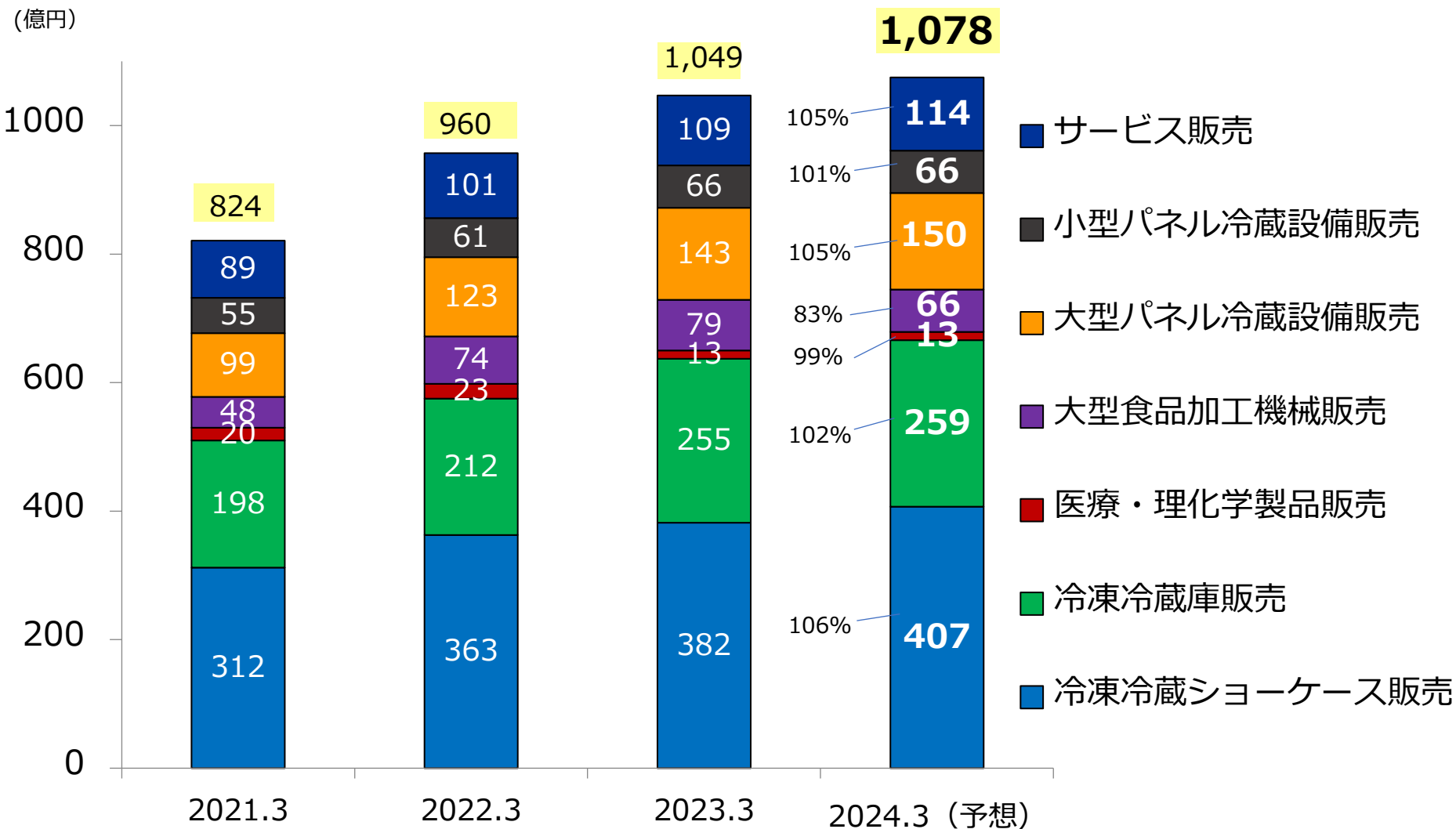
2024年3月期通期業績予想

連結損益計算書サマリー

単位：百万円

	2023年3月期(実績)		2024年3月期(予想)		前年比
	金額	比率	金額	比率	
売上高	104,996	100.0%	107,824	100.0%	102.7%
売上原価	77,862	74.2%	78,840	73.1%	101.3%
売上総利益	27,133	25.8%	28,984	26.9%	106.8%
販売費及び 一般管理費	15,647	14.9%	16,667	15.5%	106.5%
営業利益	11,485	10.9%	12,317	11.4%	107.2%
経常利益	12,292	11.7%	13,378	12.4%	108.8%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	8,654	8.2%	9,389	8.7%	108.5%

2024年3月期通期業績予想



資本コストとROE

項目	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高(百万円)	86,529	86,801	82,451	96,073	104,996
営業利益(百万円)	9,405	9,087	8,054	9,806	11,485
当期純利益(百万円)	6,615	6,226	6,299	8,172	8,654
ROE(%)	12.88	11.13	10.27	11.97	11.41
株価(期末終値)(円)	3,555	3,400	4,360	3,845	4,775
PBR(倍)	1.46	1.29	1.49	1.18	1.32
PER(倍)	11.86	12.05	15.27	10.38	12.18
1株当たり配当金(円)	48	48	53	62	73
配当性向(%)	14.5	15.4	16.9	15.2	16.9
DOE(%)	1.87	1.72	1.73	1.82	1.93

当社の資本コスト：7.5% と推計（WACC 2023.3月期）

ROEは継続して10%以上を達成しており、資本コストを上回る資本収益性を確保している

引き続き、ROE10%の維持、さらなる向上に向け、期待リターンを上回る成長投資を行い事業成長を目指す

成長投資計画（2023～2025年度）

（単位：百万円）	2023年度	2024年度	2025年度	合計
本社施設	60	40	0	100
主要投資内容	①本社MILAB改修			
事業所拠点	1,800	2,500	600	4,900
主要投資内容	①西日本グループ支社建設(MILAB,コールセンター機能追加) ②関東サービスセンター拡張			
製造拠点(4工場計)	1,500	4,500	3,400	9,400
主要投資内容	①滋賀(水口)工場<ショーケース事業>：第2工場建設【2025年】 ②岡山工場<冷凍冷蔵庫事業>：配送センター建設【2025年】、新工場棟建設 ③滋賀(彦根)工場<パネル事業>：新工場建設 ④タイ工場<冷凍冷蔵庫、ショーケース事業>ライン増設、太陽光発電			
DX投資	200	400	400	1,000
主要投資内容	①SAP機能拡充（生産ロジスティクス領域）			
人的資本投資	1,500	2,100	1,800	5,400
主要投資内容	①ガリレイアカデミー研修施設建設 ②各種研修充実 ③社員の年収 2年で10%UP ④施工管理者 90名増員			
合計	5,060	9,540	6,200	20,800

Purpose パーパス
“ガリレイグループの存在意義”

食といのち
の
未来を拓く

重点課題

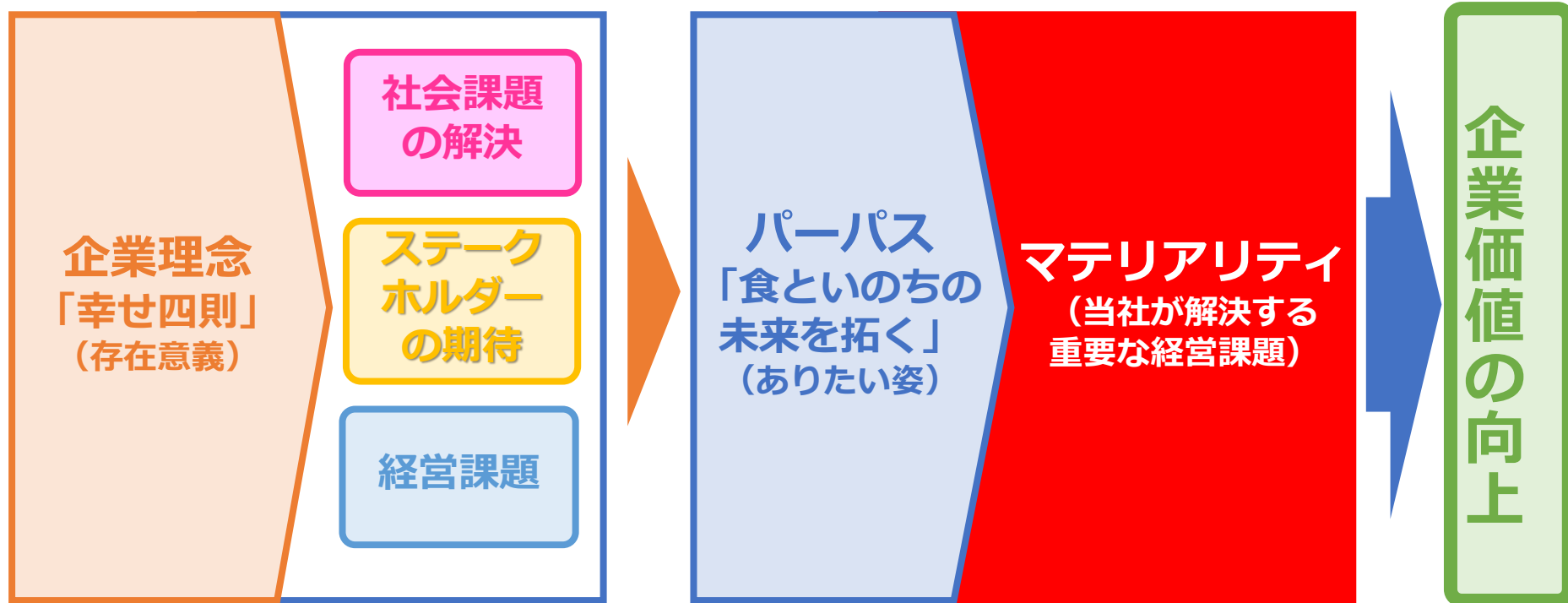
SUSTAINABLE
DIGITAL 人材
GLOBAL
SDG 人

S : サステナビリティの取り組み

2023年9月 マテリアリティ(重要課題)の特定についてリリース

マテリアリティは「パーパス実践の道標」

= 課題解決を通して「社会になくてはならない企業」へ



S : サステナビリティの取り組み

特定したマテリアリティと社会へ提供する価値

パーパスによる提供価値

おいしさの喜びと感動を
アップデート

マテリアリティ

①生活者のくらしを向上



パーパスによる提供価値

食のライフラインを支え
ゆたかな暮らしへ

マテリアリティ

②フードロスの低減

③持続可能な
サプライチェーンの実現



パーパスによる提供価値

地球上すべてのいのちを
いきいきと健康的に

マテリアリティ

④健康的な生活への支援

⑤脱炭素社会の実現



パーパスによる提供価値

世界中一人ひとりの
しあわせに貢献

マテリアリティ

⑥地域社会との共生

⑦人材の育成

⑧多様な人材の活躍



S : サステナビリティの取り組み

非財務情報の開示

GALILEI

FUKUSHIMA GALILEI CO. LTD.

フクシマガリレイ株式会社

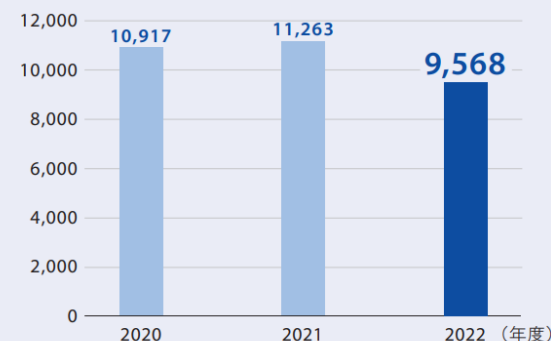
統合報告書 2023



- ・ 統合報告書2023 11/17発行
- ・ HPサステナビリティページ
11/30公開予定

CO₂ 排出量 (Scope 1,2合算)

(単位:t-CO₂)



女性管理職数・女性管理職比率

※フクシマガリレイ単体

(単位:名)



Dramatic Future 2050

～誰もがワクワクする未来を拓く、ガリレイグループ～

私たちが目指すサステナビリティは、生産からテーブルに並ぶまで
温室効果ガスの排出を実質ゼロにすること。

食といのちの未来のために、何があっても挑戦し続けます。

それが必ず、誰もがワクワクする未来を拓くと信じているからです。

S : サステナビリティの取り組み

環境アクション2030

ガリレイグループが目指す4つの「環境アクション2030」



1. グリーン冷媒
への転換



環境
Action
2030

3. 環境性能の高い
製品を開発・提供



2. 冷媒ガス
漏洩防止

4. CO2排出量削減



S : サステナビリティの取り組み

業界初 ノンフロン冷媒R1234yf採用【GWP : 1】

…微燃性のため、使用現場での修理・点検可能！

○業務用冷凍冷蔵庫

縦型：2024年4月より本格量産開始

※2023年10月より受注受付及び受注生産開始
当面は従来機種と並行生産

○製氷機：2024年1月以降納期物件より切替



S : サステナビリティの取り組み



環境性能の高い製品を開発・提供

LCA算定及び比較評価

製品のライフサイクル段階別の気候変動におけるインパクト評価。

部品点数の削減、使用時の省エネ性向上（消費電力削減）により、

それぞれ新機種は旧機種に比べGHG排出量を削減。



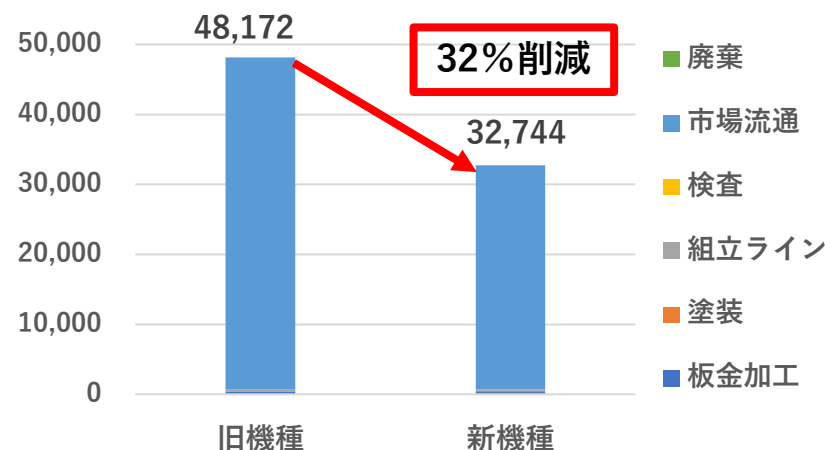
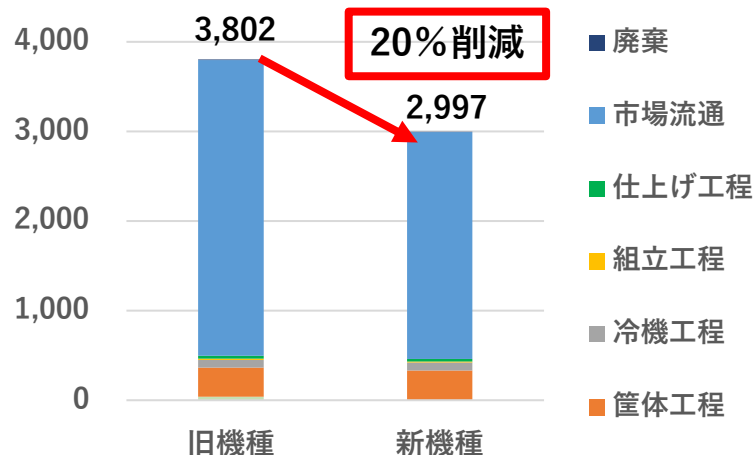
縦型冷蔵庫

冷凍機内蔵型

ショーケース



温室効果ガス排出量のCO₂換算量(kg-CO₂e)の比較



S : サステナビリティの取り組み



冷媒ガス漏洩防止

2025年度製品・施工物件より冷媒漏洩による地球温暖化ゼロを目指します。
また、プレメンテナンスの拡充により、冷媒漏れ10年保証を目指します。

2020年

冷媒漏洩量
50,000t

2035年

冷媒漏洩量
ゼロ

2035年までに
冷媒漏洩量ゼロを目指す

2020年における冷媒漏洩量50,000t(10年以内の製品・施工物件:CO₂換算実績)に対して、2035年には10年以内の製品・施工物件の冷媒漏洩量ゼロを目指します。

※10年以内の製品・施工物件の冷媒漏洩量(CO₂換算)

冷凍機内蔵製品

2025年度製造製品から
冷媒漏れ10年保証



冷凍機別置製品及び工事

保守契約による
冷媒漏れ10年保証



具体的な取り組み

製造時の対策

- 溶接レス又は溶接点数の削減
- 検査新技術の導入
- 材料劣化防止対策の拡充

施工時の対策

- 工事のDX活用

保守時の対策

- DX活用による予防保全

「直す」から『止めない』に
スタイルチェンジ



2. 冷媒ガス
漏洩防止

環境アクション2030

「冷媒ガス漏洩防止」に向けた取り組み

2025年4月スタート 別置型製品及び工事
「冷媒ガス漏れ10年保証」

重要課題

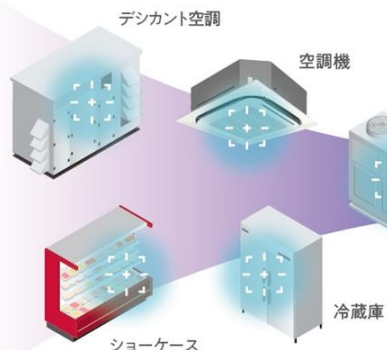
- ・ スマート診断精度UP …DX推進で実現！
- ・ 工事品質UP …工事協力業者様との連携強化

D : デジタルの取り組み

「直す」から「**止めない**」へ

ZeroCallCompany

スマート診断
冷媒漏れ検知



AURO

運転データ



G-Compass

AUROに接続された機器の運転情報をG-Compassへ送信
送信される運転情報を元にスマート診断を実施

➡ 故障の前兆を検知し、**故障前に処置**

スマート診断の成長



G : グローバルの取り組み

グローバル化への挑戦

タイ工場製品ラインナップ拡充・拡販

設備投資強化

ローカル化

現地社員の育成、幹部候補化

グローバル調達

供給網の拡大

GGV2030策定予定



人：ガリレイアカデミー

2022年5月 開校

冷凍冷蔵設備の知識・技術を学ぶ短期職業訓練校

目的

- ①技術者の早期育成！ 5年→3年で一人前に！
- ②工事・サービス業者の課題(高齢化、後継者不足)に立ち向かう！

今後は中級(入社3～5年)上級(入社5年以降)、
営業・一般社員向け講座や協力業者向けの講座も予定！



2023年10月時点
卒業生(7期生まで)
計74名

2022年12月
大阪府の**短期職業訓練校**
に認定されました

認定職業訓練校：

事業主等が雇用する従業員等に対して行う職業訓練のうち、
職業能力開発促進法に定める教科、訓練期間、設備などの
基準に合うものとして、都道府県知事が認定した訓練。

今後の計画
2025年 研修センター設立(予定)



大阪・関西万博 メインテーマ
いのち輝く未来社会のデザイン

テーマ事業名称
いのちの輝きプロジェクト

プロデューサー 小山薫堂 様

いのちをつむぐ EARTH MART Sustainable Dining & Groceries



フクシマガリレイのPurpose
食といのちの未来を拓く

大阪・関西万博プロジェクト



2023.11.17

小山薫堂プロデュース シグネチャーパビリオン
「EARTH MART」の公式HPが開設されました。

<https://expo2025earthmart.jp/>

今後の動向にご注目ください。

GALILEI

Be cool, Be alive.

フクシマガリレイ株式会社 経営企画部経営企画課

TEL : 06-6477-2011

当資料に記載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらは、掲載時点で入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいています。

実際の業績はリスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。